

令和5年度実施内容

《実施内容》

講義では、若年層の投票率低下が進んでいることについて話し、政治に参加すること・投票することの大切さを伝えました。また、投票するために必要な知識として、選挙の種類や投票方法について紹介しました。

その後の模擬投票では、2人の候補者が豊田市長として「とよたの新しい博物館」をどのような施設にしたいか演説を行い、その内容を聞いて児童・生徒の皆さんに投票してもらいました。実際の投票所と同じように記載台や投票箱を使用し、受付業務や交付機を使用した投票用紙交付作業、選挙立会人や投票管理者の仕事も体験してもらいました。

また、最後の開票作業では、投票用紙計数機の実演を交えて結果発表を行いました。

《実施の様子》



《実施後アンケートの紹介》

- 小学生
初めて選挙について知って楽しかった。いろいろ調べたりしてみたいと思った。
- 小学生保護者
これまで、選挙の投票所に連れて行って行っていました。投票に興味があったが、実際に投票することができなかつたので、自分で投票する体験ができて良かったと思います。
- 中学生
自分かこれから住んでいく社会において、選挙は自分の未来に関係するからとても大事になると思った。
- 教員
初めて選挙に行く時のハードルの高さの要因に、「選挙会場で何をしたら良いかわからない。」ということも考えられる。それを選挙出前トークによって払拭できていると思います。